

日本金融学会2024年度秋季大会 ランチョン特別セッション

日本における金融経済教育の 課題とJ-FLECの果たす役割

2024年10月12日

金融経済教育推進機構 理事長 安藤 聡

J-FLEC
金融経済教育推進機構



あんどう さとし

理事長 安藤 聡



生年月日:1955年1月27日(69歳)

出身:東京都

<略歴>

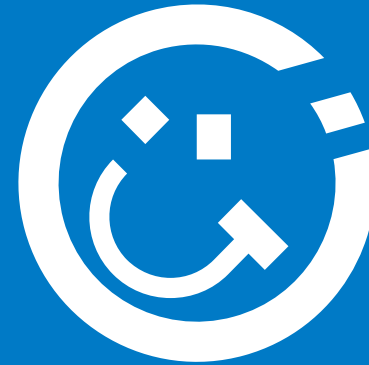
- ◆ 1977年慶應義塾大学法学部卒業、(株)東京銀行(現(株)三菱UFJ銀行)入行、本店営業部・ニューヨーク・大阪支店・人事・日本国債トレーディング・外国債券ポートフォリオ運用・法人営業企画・合併委員会小委員会事務局・検査企画・資産運用企画(副部長)・ジャカルタ支店(支店長)を経て、2007年(株)三菱東京UFJ銀行退職。
- ◆ 2007年オムロン(株)入社、常勤監査役、2011年執行役員経営IR室長、2015年執行役員常務グローバルIR・コーポレートコミュニケーション本部長、2017年6月取締役役に就任、社長指名諮問委員会、人事諮問委員会、報酬諮問委員会 各副委員長、2023年6月オムロン(株)退社。

<主な公的活動>

(過去)

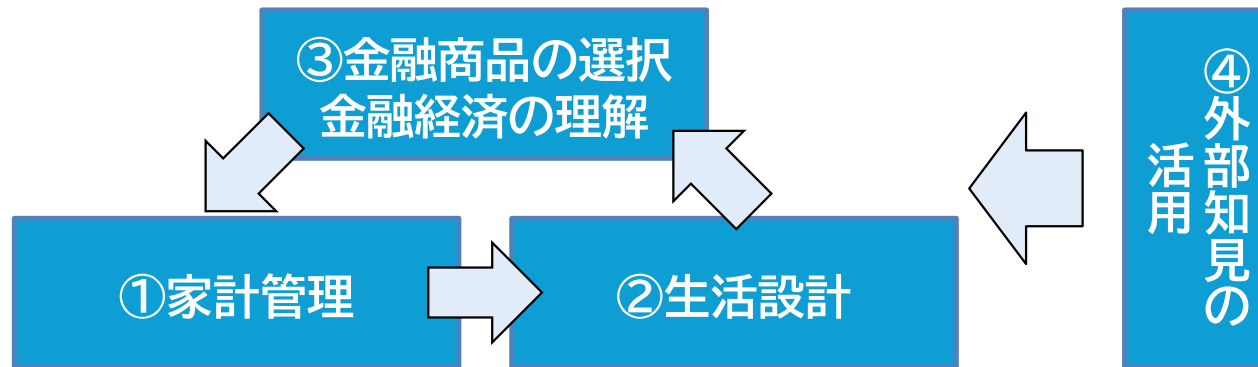
- | | |
|------------|--|
| 2014年 | 経済産業省主催研究会「伊藤レポート」委員、2017年「伊藤レポート2.0」委員、「価値協創ガイダンス」策定ワーキンググループに参画。 |
| 2014～2017年 | 国際統合報告評議会(IIRC)主催実務者協議会に参加。 |
| 2016～2019年 | GPIF主催「企業・アセットオーナーフォーラム」企業側代表幹事を務める。 |
| 2017～2023年 | (公財)国際高等研究所評議員を務める。 |
| 2022～2023年 | 内閣府主催「知財投資・活用戦略の有効な開示及びガバナンス検討会」委員を務める。 |
| 2022～2024年 | 東京証券取引所主催「市場区分見直しに関するフォローアップ会議」メンバーを務める。 |

第一部



- 国民一人ひとりが、経済的に自立し、安心かつ豊かな生活を送るためには、家計管理や生活設計といった基本的な金融知識に加え、それぞれのライフプランに合った金融商品・サービスをより適切に選択し、安定的な資産形成を行う必要性を理解するなど、**金融リテラシー(注)**を向上させていくことが重要。

(注)金融リテラシーとは、経済的に自立し、より良い生活を送るために必要な「お金に関する知識や判断力」のこと。

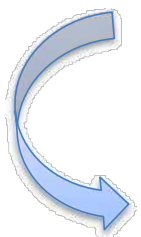


- 金融経済教育を通じて金融リテラシーを高めることは、一人ひとりが描く**ファイナンシャル・ウェルビーイング(注)**の向上に繋がる。

(注)自らの経済状況を管理し、必要な選択をすることによって、現在及び将来にわたって、経済的な観点から一人ひとりが多様な幸せを実現し、安心感を得られている状態。



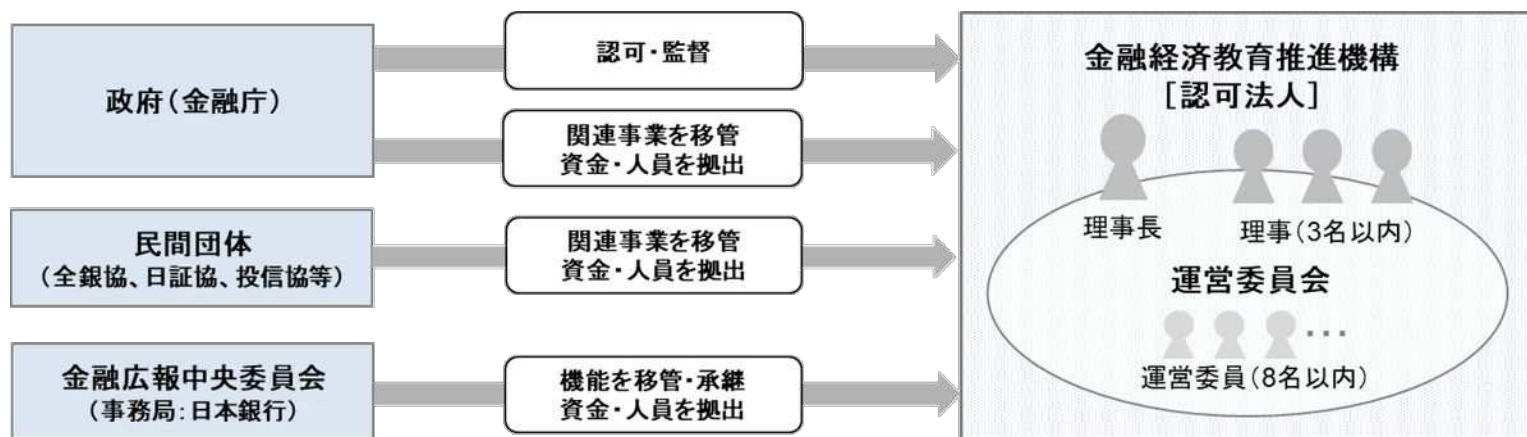
- これまで、政府、金融広報中央委員会、金融関係団体は、学校や職場等において、金融経済教育を実施。
- 但し、課題も存在。
 - 金融経済教育を受けたと認識している人は約7%。
 - 投資詐欺などの被害事案も引き続き散見。
 - 教育の担い手が金融機関・業界団体である場合、受け手（特に、個別企業）から敬遠。



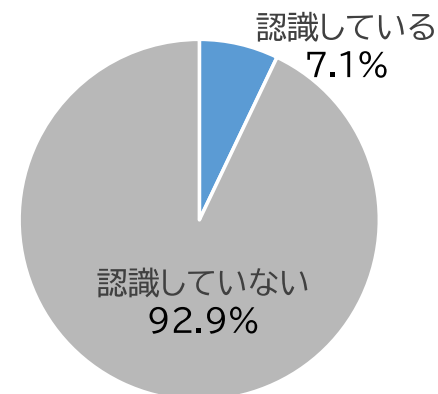
中立公正な教育を、官民一体で国全体に推進する必要。



金融経済教育推進機構の設立(2024年4月5日)



金融経済教育を受けたと認識



(出所)金融広報中央委員会「金融リテラシー調査(2022年)」より。

名称

金融経済教育推進機構
(英)J-FLEC: Japan Financial Literacy and Education Corporation

設立

2024年4月5日 ※ 本年8月より、本格稼働

資本金

10 億 5,729 万 6 千円

政府	:10 億 729 万 6 千円 (注)
日本銀行	:2,500 万円
全国銀行協会	:1,250 万円
日本証券業協会	:1,250 万円

(注)うち5千万円を除く9億5,729万6千円は、設立に係る初期費用に充てる予定。

職員数

約70名

ウェブサイト

<https://www.j-flec.go.jp/>

J-FLEC公式Xアカウント

https://x.com/J_FLEC?s=09



根拠法

金融サービスの提供及び利用環境の整備等に関する法律
(2024年2月1日施行)

目的

適切な金融サービスの利用等に資する金融又は経済に関する知識を習得し、これを活用する能力の育成を図るための教授及び指導(金融経済教育)を推進すること。

所在地

室町古河三井ビルディング (コレド室町2)
東京都中央区日本橋室町2-3-1 9F



ミッション

私たちは、一人ひとりが描くファイナンシャル・ウェルビーイングを実現し、自立的で持続可能な生活を送ることのできる社会づくりに貢献します。

ビジョン

私たちは、金融リテラシーの向上を図るプラットフォームとして、時代の移り変わりと個人の多様性に即した金融経済教育を提供し、いまと未来の暮らしをより良くする金融サービスの活用や資産の形成と活用を支援します。



- ◆ 金融は国民にとって必ずしも親しいイメージを持たれているわけではない点を踏まえ、キャラクター性のあるロゴマークを採用。
- ◆ 子供から大人まで全員に対して優しく、ポジティブな印象を与えるコミュニケーションデザインとしてシンプルな造形ながら刻印が笑顔になっている様を表現。
- ◆ また、数字や記号など幅広いバリエーションで制作可能なため、一貫した優しく、親しみやすいイメージをつくりあげられる汎用性の高いデザインとなっている。

ステップ

1

講師派遣(出張授業)、イベント・セミナー

J-FLEC

金融経済教育の機会を提供し、ライフプラン・家計管理・資産形成などの重要性について理解していただく。

ステップ

2

「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験

J-FLEC

1時間の無料相談体験を通じて、自分自身が取べき具体的な行動を知っていただく。
また、お金に関するアドバイスの価値や意義を認識していただく。

ステップ

3

「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポン

 J-FLEC
認定アドバイザー

相談料の割引クーポンを配布することによって、実際にお金に関するアドバイスを受けるきっかけとしていただく。そして、自分自身が取べき具体的な行動についての理解を深めていただく。

 個人の金融意識・
金融行動の変容

 一人ひとりが描くファイナンシャル・
ウェルビーイングの実現

金融庁金融審議会 市場制度ワーキング・グループ 顧客本位タスクフォース 中間報告(2022年12月)

「(略) 家計管理、資金計画、つみたてNISA等の税制優遇制度や年金制度、多様化する金融商品・サービスなどについて、気軽に相談し、継続的に良質なアドバイスを受けられる環境を整備することが重要である。(中略) しかしながら、顧客の立場に立っていると謳いながら、特定の金融事業者や金融商品に偏ったアドバイスが行われているケースが見られる、顧客にとって誰が信頼できるアドバイザーであるかが分からない等の課題も指摘されている。」


J-FLEC認定アドバイザー制度の創設

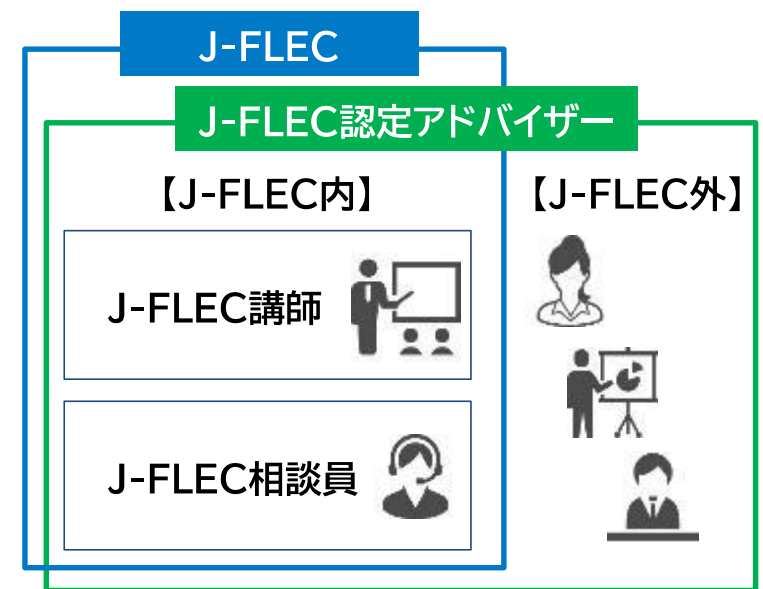
□ J-FLEC認定アドバイザーとは

J-FLECでは、J-FLECが定める認定要件に合致し所定の審査を通過した個人を、一定の中立性を有する顧客の立場に立ったアドバイザー(「J-FLEC認定アドバイザー」)として認定・公表します。

- ◆ J-FLEC認定アドバイザーは、(i)金融商品の組成・販売等を行う金融機関を兼業していない、(ii)上記金融機関から、顧客に対するアドバイスの信頼性等に影響を及ぼしうる報酬を得ていない、といった要件を満たす必要。
- ◆ J-FLEC認定アドバイザーは、家計管理、生活設計、NISA・iDeCo等の資産形成支援制度、金融商品・サービス、消費生活相談等についてアドバイスを行う者を想定。
- ◆ J-FLECは、**J-FLEC認定アドバイザーの氏名のほか、個人がアドバイスを依頼する際に参考となる情報**(保有資格、経歴、得意分野、報酬の目安、自己PR、実際にアドバイスを受けた個人からの評価等)**を公表**。

□ J-FLEC講師・相談員

所定の審査を通過したJ-FLEC認定アドバイザーは、**J-FLECが行う講師派遣(出張授業)の講師、無料相談の相談員業務を行うことが可能**です。



1

講師派遣事業

- ◆ 全国の企業や学校等に、J-FLEC認定アドバイザー（J-FLEC講師）を派遣し、金融経済に関する出張授業（無料）を展開。

2

イベント・セミナー事業

- ◆ 全国各地で、社会人の方や事業会社（経営者の方）、教員の方などを対象とした、お金に関する無料イベント・セミナーを開催。

3

「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験事業

- ◆ J-FLEC認定アドバイザーによる個別相談の無料体験を、J-FLECにおいて、対面またはオンラインで実施。【今秋より受付開始】

4

「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポン配布事業

- ◆ J-FLEC認定アドバイザーによる有料の個別相談をはじめて利用する方を対象に、相談料が80%オフ（1時間あたり最大8,000円まで割引）になる電子クーポン（3時間分）を配布。【今秋より配布開始】

5

学校等への支援事業

- ◆ 金融経済教育に関する研究活動などに取り組む学校を指定し、教育研究費の助成やアドバイス提供を実施。

- 2024年8月1日(木)
 - ✓ J-FLECホームページをリニューアル。
- 8月2日(金)
 - ✓ 「J-FLECはじめてのマネープラン」電話相談を開始。

- 8月14日(水)
 - ✓ 講師派遣(出張授業)で使用する「標準講義資料」をJ-FLECホームページにて一般公開。
あわせて利用に際しての留意事項についても公開。
 - ✓ J-FLECに事業移管した業界団体の教材も一般公開。

- 8月26日(月)
 - ✓ 新CMおよび「お金の知識力無料診断」を公開。
 - ✓ 講師派遣(出張授業)の申込受付を開始。
 - ✓ J-FLEC認定アドバイザーの認定申請の受付開始。

- 今秋より「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験、および割引クーポン配布を開始予定。

[J-FLECホームページ](#)

[講師派遣で使用する教材の公開について](#)
[金融を学べる教材一覧](#)

[お金の知識力無料診断](#)
[講師派遣\(出張授業\)](#)
[J-FLEC認定アドバイザー](#)

[J-FLECはじめてのマネープラン](#)

※ J-FLEC公式Youtube、公式X(旧Twitter)も開設済み。

[J-FLEC公式Youtube](#)
[J-FLEC公式X\(旧Twitter\)](#)

- 全国の企業や学校等に、所定の審査を通過したJ-FLEC認定アドバイザー(J-FLEC講師)を派遣し、金融経済に関する出張授業(無料)を受け付けています。
- 講師派遣では、「金融リテラシー・マップ」に沿って、年齢層別に最低限身に付けるべき金融リテラシー(お金に関する知識・判断力)を習得いただけるような研修・授業を実施します。また、より詳しく学びたい方向けの詳細なコンテンツも提供する予定です。講義内容や時間については、講義テーマに応じて講師と事前調整することが可能です。

年齢層	学べる主な内容(例)
小学生	「おこづかいから学ぶお金の話」 ・おこづかいの使い方、貯め方、お金の流れ・トラブルの事例など ※ ドリル・ゲーム・クイズなども活用した参加型形式もあり
中学生・高校生	「大人になる前に知っておきたいお金の話」 ・収支管理の基本、お金の貯め方のコツ、資産形成と経済活動の関係性、クレジット・奨学金の仕組みと注意点、金融トラブルの防止など
大学生・若手社会人(10代~20代)	「社会人として知っておきたいお金の話」 ・家計管理や給与明細の見方、資産形成の基本(長期・積立・分散)や支援制度(NISAなど)、社会保険と民間保険、クレジット、奨学金、金融トラブルの防止など
中堅社会人(30代~40代)	「将来に向けて知っておきたいお金の話」 ・家計の現状把握から外部知見(お金の専門家)の活用を通じた将来設計・資産形成の考え方、社会保険と民間保険、各種ローン、金融トラブルの防止など
ベテラン社会人(50代以上)	「リタイア前後に知っておきたいお金の話」 ・定年退職後の生活を見据えた年金などの社会保険、退職金、税金の仕組みのほか、資産寿命の延伸、贈与・相続・終活などの概要



※ 特別支援学校向け、教員向けにも研修・授業を実施します。

※ 講義資料は、J-FLEC以外の教育活動を行っている方々にも参考としていただくため、J-FLECホームページにて公開済。

- 「金融リテラシー・マップ」とは、「最低限身に付けるべき金融リテラシー」を、年齢層別に、体系的かつ具体的に記したものの。
- 2014年に、金融庁・消費者庁等の関係省庁・有識者・金融関係団体等をメンバーとする金融経済教育推進会議が公表。

【金融リテラシー・マップ(イメージ図)】

	小学生	中学生	高校生	大学生	社会人	高齢者
家計管理	分野別・年齢層別に 体系的かつ具体的に記載					
生活設計						
金融取引の基本 としての素養						
金融分野共通						
保険商品						
ローン・ クレジット						
資産形成商品						
外部の知見の適 切な活用						

【具体的な内容の例】

1. 小学生向けの内容

- 必要なもの(ニーズ)と欲しいもの(ウォンツ)を区別し、計画を立てて買い物ができる。
- 困ったときにはすぐに身近な人に相談する態度を身に付ける。

2. 高校生向けの内容

- 職業選択と生活設計を関連付けて考え、生涯の収支内容を理解して生活設計を立てる。
- お金や金融・経済の機能・役割を把握するとともに、預金、株式、債券、投資信託、保険など基本的な金融商品の内容を理解する。
- トラブルに対処できる具体的方法を学び、実際に行使できる技能を身に付ける。

3. 社会人向けの内容

- 金融商品を含む様々な販売・勧誘行為に適用される法令や制度を理解し、慎重な契約締結など、適切な対応を行うことができる。
- 金融商品の特性(流動性・安全性・収益性)とリスク管理の方法を理解する。自らの生活設計の中で、どのように資産形成をしていくかを考える。
- 金融商品を利用する際に相談等ができる適切な機関等を把握する必要があることを認識している。

(出所)金融経済教育推進会議「金融リテラシーマップ『最低限身に付けるべき金融リテラシー』の項目別・年齢層別スタンダード(2023年6月改訂版)」より作成。

- J-FLECホームページにおいて、出張授業において活用する標準講義資料を一般公開しています。
- 以下10種類の対象層別の標準講義資料をPDFで提供しています。

対象層別【一般公開】			
学校向け	小学生(低学年)	職域向け	～20代 若手層用
	小学生(中学年)		～40代 中堅層用
	小学生(高学年)		～60代 ベテラン層用
	中学生用	一般向け	高齢者用
	高校生用		
	大学生用		

- ※ 上記に加え、テーマ別コンテンツとして、公的年金・私的年金・iDeCo・NISA・資産運用・投資信託・サステナブル・民間保険(生保・損保)・金融トラブル/消費者教育(学生・社会人)・成年後見制度・贈与/相続・終活等も作成(非公開)。
- ※ 一般の利用者の方が、標準講義資料を参考にすることが可能です。
使用時はJ-FLEC資料からの引用であることの明記、一部抜粋の禁止などの留意事項をご確認ください。

教材はこちらから閲覧・ダウンロードが可能
<https://www.j-flec.go.jp/materials/>



- 全国各地で、社会人の方や事業会社(経営者の方)、教員の方などを対象とした、お金に関する無料イベント・セミナーを開催します。
- 忙しくて時間がない方、遠隔地にお住まいの方にもご参加いただけるよう、イベント・セミナー会場だけでなく、オンラインによる参加やオンデマンド動画による視聴も可能とする予定です。

【イベント・セミナー例】

対象層	主な内容等
社会人	「社会人として身に付けておきたいお金の話」 ・収支管理・資産形成の基本や利用できる制度(NISA等)、社会保険と民間保険など
事業会社 (経営者)	「職域における金融経済教育のメリット」 ・人材確保の観点からの金融経済教育の重要性、企業における取組み事例の紹介など
教員向け	「基礎から知りたいお金の話」 ・先生自身に知っていただきたい、家計管理・資産形成などの基本とポイント 「生徒に伝えたいお金の話」 ・授業でお金について教える際のポイント、授業で使えるJ-FLEC教材の体験など
親子向け	「お金の使い方・貯め方体験プログラム」 「会社の仕組みやお金の流れを学習できるワークショップ」



<主に一般の方々へ>

～将来を見据えたおかねのキホン～

NISAとiDeCoで始める 資産形成セミナー

2024 **9.25** WED
18:30 ~ 20:00

NISA iDeCo

オンライン開催 参加無料
YouTube LIVE 配信
*事前申込制 (定員はありません)

本年4月、金融経済教育推進機構 (J-FLEC) が設立され、これまで以上に金融経済教育が注目を集めています。お金に関する様々な知識を正しく身に付け、経済的に自立することは、ウェルビーイングな人生を送るために非常に重要とされています。今、話題のNISAやiDeCoについてもしっかり学んで、お金や資産形成について、一緒に考えてみませんか？

プログラム ※開始予定時刻の1分前より参加可能です。※本プログラムは予告なく変更となる場合がございます。

- 1 政府高官メッセージ
- 2 金融リテラシーの基礎
J-FLEC認定アドバイザー 岡田 由美子
- 3 NISA 制度とその活用方法
金融庁 金融経済教育推進室 野村 泰隆
- 4 iDeCo 制度とその活用方法
厚生労働省 年金局 企業年金・個人年金課 末永 理紗
- 5 Q&A コーナー 申込フォームでいただいた事前質問に講師がお答えします！

《申込方法》
下記 URL もしくは QR コードから申込フォームに記入・送信ください。
<https://form.dr-seminar.jp/lps/evkstg/kinyuseminar>
申込完了後、YouTube LIVE の視聴 URL がメールで届きます。

ひとくらし、あらいのために
J-FLEC **金融庁** **厚生労働省**
Financial Services Agency Ministry of Health, Labour and Welfare
運営委託会社：東京セミナースタジオ株式会社 info@tokyo-seminar-studio.com 担当：ト部 (うらべ)、大谷

<主に経営層や人事・福利厚生担当の方々へ>

J-FLEC × SMBCグループ 共催イベント

定員 **150** 名様
参加 **無料** (※お食事別)

9.26 Thu
第1部 18:00 ~
第2部 18:40 ~

大手町
サンケイプラザ
4Fホール

ファイナンシャル ウェルビーイングと 金融経済教育

18:00 ~ [第1部] パネルディスカッション

THEME
1. 日本人の金融リテラシーの現在地
2. 企業にとっての従業員の金融リテラシー向上の意義
3. 金融リテラシーの向上に向けた取組

SPEAKER
金融経済教育推進機構 (J-FLEC) 理事長 **安藤 聡**
三井住友フィナンシャルグループ取締役 執行役員 **伊藤 文彦**
コメンテーター
フリーアナウンサー **宇賀 なつみ**

18:40 ~ [第2部] 企業トークセッション

THEME
人的資本経営におけるファイナンシャルウェルビーイングの位置づけと具体的な取組

SPEAKER
NEC企業年金基金常務理事 NEC人材基盤開発統括部 シニア年金プロフェッショナル / **本間 智亮 氏**
株式会社パソナグループ 常務執行役員 HR部長 / **金澤 良理 氏**
早稲田大学大学院 早稲田大学ビジネススクール教授 / **入山 章崇 氏**

日時 2024年9月26日 (木) 18:00~19:30 ※17:30 開場・受付開始
場所 大手町サンケイプラザ 4Fホール
対象 企業の人事部門、金融経済教育・人的資本経営に興味がある方など

お申し込みはコチラ

お申し込み方法 ▶ 下記URLもしくはQRコードから申込フォームに記入・送信ください。
https://www.smfg.co.jp/sustainability/whatsnew/2024/2024_09_26.html

共催 | **J-FLEC** **SMBC**

<主に消費者教育に携わる方々へ>

昭和女子大学 専門職大学院 公開シンポジウム (共催 金融経済教育推進機構)

消費者本位の金融経済教育 —J-FLEC認定アドバイザーが果たすべき役割—

金融経済教育推進機構(J-FLEC)の設立を契機として、消費者の金融経済教育の必要性への関心があらためて高まるなか、J-FLEC認定アドバイザーによるアドバイスの実施業務及びその果たすべき役割を、特に消費者の立場から検討する。

日時 ⇒ 2024年9月18日(水) 18:30~20:45

開催方法 ⇒ ハイフレックス形式 (参加費無料)

会場 ⇒ オンライン: Zoomウェビナー
対面: 昭和女子大学 学園本部館3階 中会議室
東京都世田谷区太子堂1丁目7-57
(東急田園都市線(半蔵門線直通) 三軒茶屋駅下車 徒歩7分)

申込方法 ⇒ 申込フォームまたはQRコードよりお申し込みください
<https://forms.gle/QVQT658trLmATBN7>

プログラム

- ◆オープニング・リマーク
坂東 眞理子 昭和女子大学総長
- ◆シンポジウム趣旨説明
太田 行信 昭和女子大学特命教授
- ◆講演 「J-FLEC設立の狙いとその戦略」
安藤 聡 J-FLEC (金融経済教育推進機構) 理事長
- ◆講演 「消費者教育と金融経済教育の連携の新局面」
柿野 成美 法政大学大学院准教授
- ◆報告 「損害保険に関する消費者金融リテラシーの現状と課題」
遠藤 美紀子 東京海上日動火災保険株式会社 熊谷支社 シニアアシエイト/
マスター消費生活アドバイザー (昭和女子大学専門職大学院 修了生)
- ◆パネルディスカッション
「消費者本位の金融経済教育の目指すところとJ-FLEC認定アドバイザーが果たすべき役割」
永沢 裕美子 良質な金融商品を育てる会 (フォスター・フォーラム) 世話人/
NACS (日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会) 理事
安藤理事長、柿野准教授、加納 克利 昭和女子大学教授
- ◆質疑応答
- ◆総括コメント
飛田 史和 昭和女子大学 特任教授

【お問い合わせ先】
昭和女子大学大学院 福祉社会・経営研究科 福祉共創ナレッジ管理専攻
Mail: exam-senfuku@swu.ac.jp

<主に子どもとその保護者、教員の方々へ>

J-FLEC NOMURA

次世代を担う子どもたちのための
金融経済教育イベント

参加無料 ゲーム形式の授業も!

小中学生と保護者向け
親子で学ぶ お金のコト

日本橋・兜町で、次世代を担う子どもたちのウェルビーイング実現のために、金融・経済の知識・経験を伝え、活かす方法を一緒に考えるイベント「親子で学ぶお金のコト」を開催します。ぜひ、親子でご参加ください。

開催日時 2024年10月20日 12:30 ~ 16:00

■プログラム ※詳細は裏面をご確認ください

12:30 - 16:00	体験型イベント 親子でお金の体験授業
12:30 - 13:30	イベントセミナー 親子で、学校で学ぶお金のコト
13:40 - 14:40	同時開催: 教員向けセミナー 「よく生きる」を実現する金融経済教育

開催場所 KABUTO ONE HALL & CONFERENCE
東京都中央区日本橋兜町7-1 KABUTO ONE 4階
● 東京メトロ東西線「茅場町」駅直結
● 東京メトロ銀座線・東西線、都営浅草線「日本橋」駅 O2出口 徒歩2分

主催 J-FLEC NOMURA 協力 docomo Benesse

J-FLEC NOMURA

次世代を担う子どもたちのための
金融経済教育イベント

参加無料 授業体験も!

教員のみなさま向け
学校で学ぶ お金のコト

日本橋・兜町で、次世代を担う子どもたちのウェルビーイング実現のために、金融・経済の知識・経験を伝え、活かす方法を一緒に考えるイベント「学校で学ぶお金のコト」を会場・オンラインで開催します。ぜひ、ご参加ください。

開催日時 2024年10月20日 日曜日 12:30 ~ 16:00 ※12:00~開場および受付開始

■プログラム ※詳細は裏面をご確認ください

12:30 - 13:30	イベントセミナー 親子で、学校で学ぶお金のコト
13:40 - 14:40	教員向けセミナー 「よく生きる」を実現する金融経済教育
12:30 - 16:00	教員・保護者用体験授業も 親子でお金の体験授業

開催場所 KABUTO ONE HALL & CONFERENCE
東京都中央区日本橋兜町7-1 KABUTO ONE 4階
● 東京メトロ東西線「茅場町」駅直結
● 東京メトロ銀座線・東西線、都営浅草線「日本橋」駅 O2出口 徒歩2分

参加お申込み
下記二次元コードイベントページからお申し込みください

主催 J-FLEC NOMURA 協力 docomo Benesse 後援 JSDA 日本証券業協会

「J-FLECはじめてのマネープラン」電話相談

□ J-FLEC認定アドバイザーによる「はじめてのマネープラン」無料体験(電話)を実施しています。

概 要:

✓ 「家計管理」やNISA・iDeCo等の「資産形成支援制度」、「金融商品・サービス」等、金融経済全般に関する一般的な疑問や質問についてJ-FLEC認定アドバイザーが回答する電話相談窓口。

※ 個別具体的な税金等の計算、個別の金融商品等に関する相談はできません。

ジェイフレック

電話番号:03-3231-1209

料 金:無料 ※通話料は利用者のご負担となります。

時 間:最大30分

受付時間:10時00分~17時00分(土日祝・年末年始を除く)

「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験

今秋受付開始予定

□ お金に関するアドバイスの価値や意義を知っていただくきっかけとするため、
J-FLEC認定アドバイザーによる個別相談の無料体験を対面またはオンラインで提供予定です。

◆ 無料体験は最大1時間で、事前予約制。

(相談テーマ例)

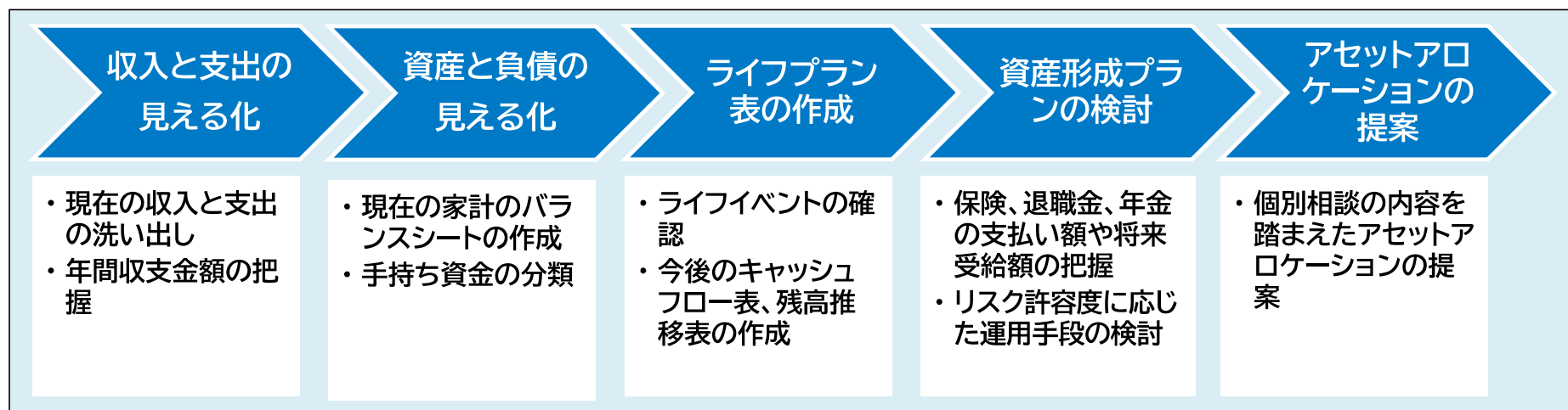
ライフプランの立て方、家計の見直し、教育資金の準備、
住宅ローンの借入れ、金融資産の運用、リタイアメントプラン 等

◆ 個別具体的な税金等の計算、個別の金融商品等に関する相談は不可。



- お金に関するアドバイスの価値や意義を知っていただくきっかけとするため、J-FLEC認定アドバイザーによる有料の個別相談をはじめて利用する方を対象として、相談料が80%オフ(最大8,000円まで割引)になる電子クーポン(3時間分)を配布します。
 - ◆ 相談料が1時間10,000円の場合、電子クーポンの利用で自己負担が2,000円になります。
 - ◆ 3時間でライフプランの作成からアセットアロケーション(金融資産の種類・配分調整)の提案までの個別相談が可能です。
 - ◆ 電子クーポンの利用対象となる個別相談は、J-FLECが行うアドバイス実践研修を通じて、一定のアドバイス技能を身に付けたJ-FLEC認定アドバイザーが行うものに限定されています。
 - ◆ 今秋からクーポンの取得申請を受け付け、まずは3,000名分を配布します。状況を見つつ、追加配布することも予定しています。

【3時間分の個別相談の内容(例)】



- ◆ 中立公正な組織として、偏りのない金融経済教育を推進
 - 家計管理・生活設計・資産形成・金融トラブル防止など広く教育

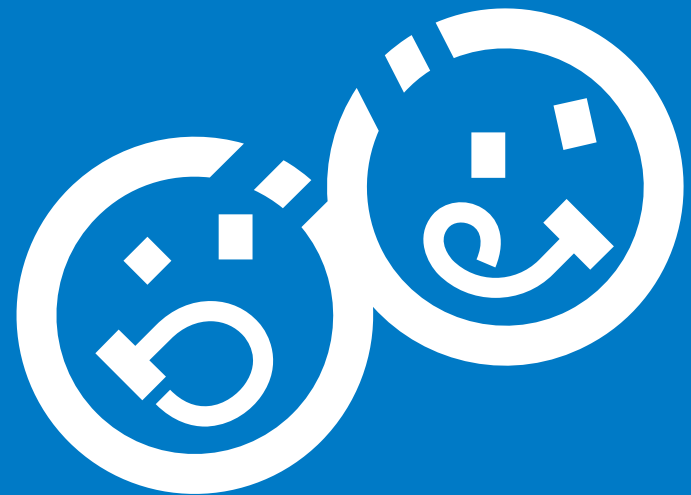
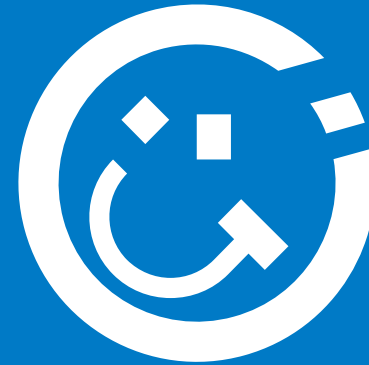
- ◆ 金融機関を兼業していない認定アドバイザーが教育の担い手
 - 営業を受けることが苦手な方も、安心して学べる環境

- ◆ 企業にも、学校にも、地域の公民館にも、広く展開
 - 誰一人取り残さない学びの場を提供

- お金の知識をどれくらい有しているか簡単にチェックできる「お金の知識力無料診断」、および女優・歌手である鈴木愛理さんを起用した新CMを公開。



第二部



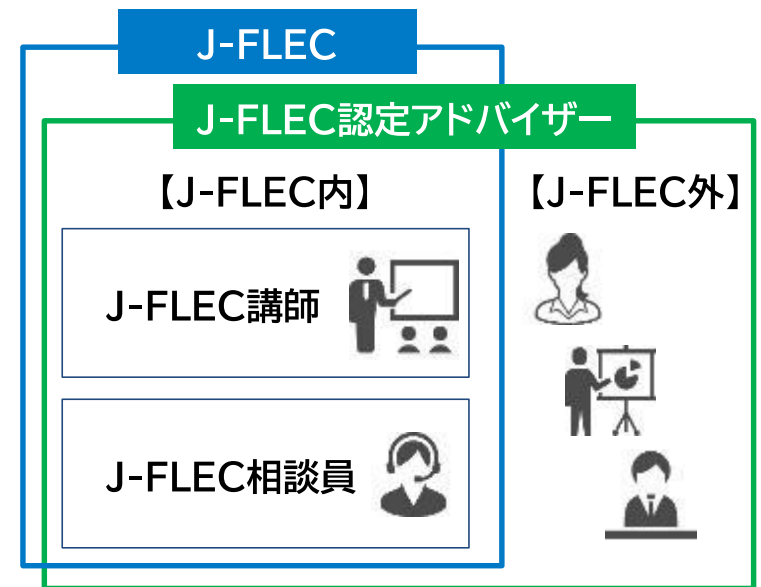
□ J-FLEC認定アドバイザーとは

J-FLECでは、J-FLECが定める認定要件に合致し所定の審査を通過した個人を、一定の中立性を有する顧客の立場に立ったアドバイザー(「J-FLEC認定アドバイザー」)として認定・公表します。

- ◆ J-FLEC認定アドバイザーは、(i)金融商品の組成・販売等を行う金融機関を兼業していない、(ii)上記金融機関から、顧客に対するアドバイスの信頼性等に影響を及ぼしうる報酬を得ていない、といった要件を満たす必要。
- ◆ J-FLEC認定アドバイザーは、家計管理、生活設計、NISA・iDeCo等の資産形成支援制度、金融商品・サービス、消費生活相談等についてアドバイスを行う者を想定。
- ◆ J-FLECは、**J-FLEC認定アドバイザーの氏名のほか、個人がアドバイスを依頼する際に参考となる情報**(保有資格、経歴、得意分野、報酬の目安、自己PR、実際にアドバイスを受けた個人からの評価等)**を公表。**

□ J-FLEC講師・相談員

所定の審査を通過したJ-FLEC認定アドバイザーは、**J-FLECが行う講師派遣(出張授業)の講師、無料相談の相談員業務を行うことが可能**です。



1. 次のいずれにも該当しないこと

- 金融商品の組成・販売等を行う金融機関等に所属している(注1、2)
- 金融商品の組成・販売等を行う金融機関等から、顧客に対するアドバイスの信頼性・公正性に影響を及ぼし得ると考えられる報酬を得ている(注3)

(注1)「金融商品の組成・販売等を行う金融機関等」(以下、「金融機関等」という。)とは、以下を指す。

- ・ 金融サービスの提供及び利用環境の整備等に関する法律第3条第3項に規定する「金融商品販売業者等」
- ・ 金融商品取引法第28条第3項に規定する「投資助言・代理業」を行う者のうち同項第2号に規定する「投資顧問契約又は投資一任契約の締結の代理又は媒介」を行う者、第4項に規定する「投資運用業」を行う者
- ・ 貸金業法第2条第2項に規定する「貸金業者」
- ・ 宅地建物取引業法第2条第3号に規定する「宅地建物取引業者」
- ・ 上記に列記した事業者のグループ会社(子会社、関連会社、親会社の子会社及び親会社の関連会社を総称していう。)

(注2)「金融機関等に所属している」とは、金融機関等に役職員(非常勤職員等を含め雇用形態は問わない)として勤務していることまたは自身でこれらの事業を営んでいることを指す。

(注3)「顧客に対するアドバイスの信頼性・公正性に影響を及ぼし得ると考えられる報酬を得ている」とは、例えば金融機関等より顧客に対するアドバイスの結果として生じた取引等によって報酬(非金銭的なものを含む。)を得る仕組みを設けていることをいい、実際に報酬の支払いがなされていない場合も含む。

2. 家計管理、生活設計、NISA・iDeCo等の資産形成支援制度、金融商品・サービス、消費生活相談等に関するアドバイスを提供するために有益な資格(CFP®、AFP、FP技能検定(2級以上)、外務員(1種)、弁護士等の士業、消費生活相談員など)及び一定の業務経験(原則として当該資格に関するもの)を有すること

3. 法令諸規則違反等による、刑事罰、処分その他の措置を受けていないこと(注)

(注)「法令諸規則違反等による、刑事罰、処分その他の措置の措置を受けていない」とは、以下のいずれにも該当しない場合を指す。

- ・ 禁錮以上の刑又は刑法の罪を犯したことによる罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者
- ・ 金融庁による行政処分の執行が終了した日から5年を経過しない者
- ・ J-FLEC又はJ-FLEC認定アドバイザーの称号の権威、信頼性を害したことによりJ-FLEC認定アドバイザーの登録を取り消され、その取消しの日から5年を経過しない

4. 反社会的勢力ではないこと

5. その他、金融経済教育推進機構が不相当と認めた者でないこと

- J-FLEC認定アドバイザーの認定要件にある「アドバイスを提供するために有益な資格及び一定の業務経験」として、以下を例示しています。
- なお、ここに例示した以外の資格・業務経験であっても、申請者の経歴等と照らしたうえで、「アドバイスを提供するために有益な資格及び一定の業務経験」として認める場合があります。

資格等(例)	一定の業務経験(例)
CFP®、AFP、FP技能検定(2級以上) 外務員(1種) 証券アナリスト プライベートバンカー 公認会計士 税理士 弁護士 司法書士 行政書士 社会保険労務士 消費生活相談員 消費生活アドバイザー DCプランナー(1級) 住宅ローンアドバイザー 銀行業務検定(税務2級) 銀行業務検定(相続アドバイザー3級以上) 銀行業務検定(年金アドバイザー3級以上) 金融窓口サービス技能検定(1級) 投資助言・代理業者	個人からのFP分野における相談・提案業務 個人からの公的年金・社会保険に係る相談 個人への対面による金融商品の提案・販売 個人への対面による保険契約の提案・販売 個人への不動産購入の資金計画作成・提案 個人への住宅ローンに係る審査・相談等 個人融資に係る審査・財務状況分析・相談等 個人に対する各種税務相談(確定申告、相続、遺言等) 成年後見制度に係る相談 保護者に対する教育資金プラン等の提案 児童・生徒に対する金融経済教育の実施 個人への金融商品に係る投資助言

- J-FLEC認定アドバイザーの称号の信頼性を担保するため、各J-FLEC認定アドバイザーが遵守すべき事項として、以下のような行為基準を定めています。
- 毎年 of 更新制とするとともに、仮に行為基準に違反する行為が認められた場合には、認定の取消し等の処分を行う予定です。

1. 法令遵守

- 自身の行うアドバイスが違法、不当なものとなることがないように、関連する法令、ガイドライン等を理解し、遵守する。それらの間に相反する内容がある場合は、最も厳格なものに従う。

2. 信頼性の保持

- 「J-FLEC認定アドバイザー」の称号を使用する場合には、称号の権威と信頼性を保持するよう良識ある方法を用いることとし、誇大又は煽動的な表示等で利用者である個人の判断を誤らせるおそれのある表現は避けなければならない。
- 利用者である個人の各々のライフプランやニーズ、目的、資産の状況を十分に理解し、それらを踏まえて公正かつ中立なアドバイスを行わなければならない。
- アドバイスを提供する際、利用者である個人の利益に資することにのみ専念しなければならない。
- 利用者である個人へのアドバイスに関する報酬を請求する場合、事前に利用者と金額または算定方式を合意し、合意していない報酬を請求することはしない。また、利用者である個人と合意したアドバイスに関する報酬以外に、金融商品の組成・販売を行う金融機関等の第三者から、顧客に対するアドバイスの信頼性・公正性に影響を及ぼし得ると考えられる報酬を得てはならない。
- J-FLECもしくは他のJ-FLEC認定アドバイザーの信用を傷つけ、またはJ-FLECもしくは他のJ-FLEC認定アドバイザーの不名誉となる行為をしてはならない。
- 法令違反による刑事罰、処分、その他の措置を受けた場合、利用者である個人との間で紛争が発生した場合、「J-FLEC認定アドバイザー」の認定要件に適合しないまたはその疑いが生じた場合は、直ちにJ-FLECへ報告する。

3. その他

- 新聞・雑誌・書籍・ポスター・テレビ・ラジオ・ホームページ・SNS等を通じて不特定多数の者に対して情報発信を行う場合には、予めその媒体及び概要についてJ-FLECへ届け出なければならない。
- 金融機関等からの依頼を受けて当該金融機関の社員向け研修の講師やセミナーの登壇、コラムの執筆、資料の監修等の業務を行う場合には、予めその概要についてJ-FLECへ届け出なければならない。

□ 2024年8月1日時点で、合計424名のJ-FLEC認定アドバイザーを認定済。

(注)これまで日銀(金融広報中央委員会)・日証協・全銀協・投信協の講師派遣事業に従事していた既存講師(金融広報アドバイザー、金融・証券インストラクター、金融インストラクター、投資信託協会講師)等を対象に、先行して、J-FLEC認定アドバイザーへの認定審査を実施。

□ 8月26日(月)より、新規の認定申請の受付を開始するとともに、10月に、J-FLECのウェブサイト上において、上記のJ-FLEC認定アドバイザーのプロフィールを紹介する予定。

【J-FLEC認定アドバイザー(424名)の属性】(2024年8月1日時点)

(年代)

20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1名 (0.2%)	13名 (3.1%)	54名 (12.7%)	125名 (29.5%)	191名 (45.0%)	40名 (9.4%)

(保有資格) ※複数の資格を保有している場合は、左側のものから優先してカウント。

CFP	FP1級	AFP	FP2級	消費生活 相談員等	外務員 (1種)	士業(注)	証券 アナリスト	銀行業務 検定
181名 (42.7%)	14名 (3.3%)	88名 (20.8%)	40名 (9.4%)	40名 (9.4%)	29名 (6.8%)	28名 (6.6%)	3名 (0.7%)	1名 (0.2%)

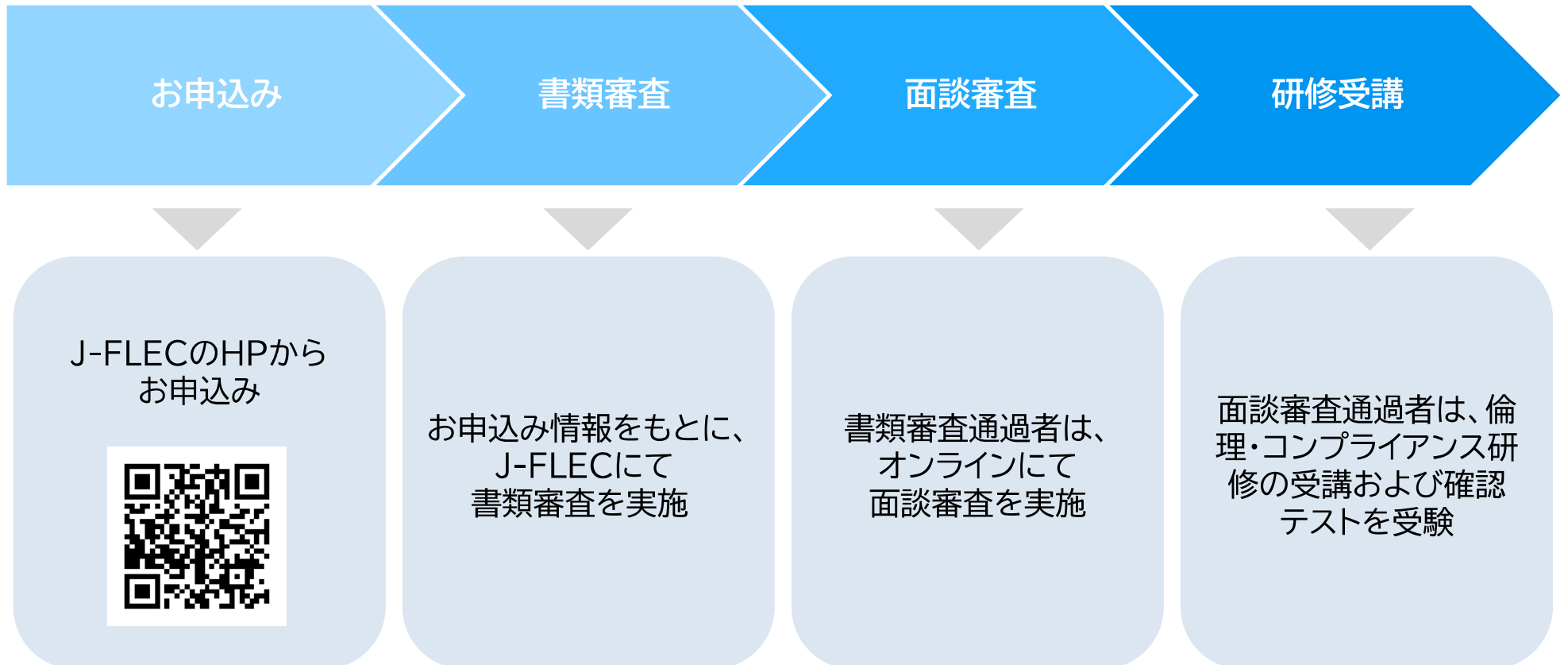
(注)税理士、司法書士、社会保険労務士など

76.2%

【J-FLEC認定アドバイザー(424名)の都道府県分布】(2024年8月1日時点)

都道府県名	人数	都道府県名	人数	都道府県名	人数	都道府県名	人数
北海道・東北ブロック		北信越ブロック		近畿ブロック		四国ブロック	
北海道	12	新潟	12	滋賀	4	徳島	4
青森	6	富山	8	京都	10	香川	7
岩手	3	石川	8	大阪	14	愛媛	9
宮城	5	福井	4	兵庫	8	高知	1
秋田	5	長野	4	奈良	12	九州ブロック	
山形	4	中部ブロック		和歌山	5	福岡	9
福島	4	岐阜	5	中国ブロック		佐賀	10
関東ブロック		静岡	10	鳥取	2	長崎	12
茨城	9	愛知	12	島根	2	熊本	7
栃木	9	三重	5	岡山	5	大分	7
群馬	5			広島	10	宮崎	5
埼玉	13			山口	6	鹿児島	8
千葉	17					沖縄	6
東京	70						
神奈川	30						
山梨	1						

- J-FLEC認定アドバイザーに認定された方は、ご自身の相談業務において当称号を利用することが可能であり、「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポンの対象事業者となることができます。
- また、J-FLEC認定アドバイザーに認定されたのち、希望する方については別途所定の審査を受け、合格いただくことで、J-FLECの講師又は相談員としての業務を受託することが可能です。
- J-FLEC認定アドバイザーへのご登録を希望される方は、J-FLECのHPよりお申込みください。
(HP) <https://www.j-flec.go.jp/advisors/registration/>



1

講師派遣事業

- ◆ 全国の企業や学校等に、J-FLEC認定アドバイザー（J-FLEC講師）を派遣し、金融経済に関する出張授業（無料）を展開。

2

イベント・セミナー事業

- ◆ 全国各地で、社会人の方や事業会社（経営者の方）、教員の方などを対象とした、お金に関する無料イベント・セミナーを開催。

3

「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験事業

- ◆ J-FLEC認定アドバイザーによる個別相談の無料体験を、J-FLECにおいて、対面またはオンラインで実施。【今秋より受付開始】

4

「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポン配布事業

- ◆ J-FLEC認定アドバイザーによる有料の個別相談をはじめて利用する方を対象に、相談料が80%オフ（1時間あたり最大8,000円まで割引）になる電子クーポン（3時間分）を配布。【今秋より配布開始】

5

学校等への支援事業

- ◆ 金融経済教育に関する研究活動などに取り組む学校を指定し、教育研究費の助成やアドバイス提供を実施。

- 全国の企業や学校等に、所定の審査を通過したJ-FLEC認定アドバイザー(J-FLEC講師)を派遣し、金融経済に関する出張授業(無料)を受け付けています。
- 講師派遣では、「金融リテラシー・マップ」に沿って、年齢層別に最低限身に付けるべき金融リテラシー(お金に関する知識・判断力)を習得いただけるような研修・授業を実施します。また、より詳しく学びたい方向けの詳細なコンテンツも提供する予定です。講義内容や時間については、講義テーマに応じて講師と事前調整することが可能です。

年齢層	学べる主な内容(例)
小学生	「おこづかいから学ぶお金の話」 ・おこづかいの使い方、貯め方、お金の流れ・トラブルの事例など ※ ドリル・ゲーム・クイズなども活用した参加型形式もあり
中学生・高校生	「大人になる前に知っておきたいお金の話」 ・収支管理の基本、お金の貯め方のコツ、資産形成と経済活動の関係性、クレジット・奨学金の仕組みと注意点、金融トラブルの防止など
大学生・若手社会人(10代~20代)	「社会人として知っておきたいお金の話」 ・家計管理や給与明細の見方、資産形成の基本(長期・積立・分散)や支援制度(NISAなど)、社会保険と民間保険、クレジット、奨学金、金融トラブルの防止など
中堅社会人(30代~40代)	「将来に向けて知っておきたいお金の話」 ・家計の現状把握から外部知見(お金の専門家)の活用を通じた将来設計・資産形成の考え方、社会保険と民間保険、各種ローン、金融トラブルの防止など
ベテラン社会人(50代以上)	「リタイア前後に知っておきたいお金の話」 ・定年退職後の生活を見据えた年金などの社会保険、退職金、税金の仕組みのほか、資産寿命の延伸、贈与・相続・終活などの概要



※ 特別支援学校向け、教員向けにも研修・授業を実施します。

※ 講義資料は、J-FLEC以外の教育活動を行っている方々にも参考としていただくため、J-FLECホームページにて公開済。

- J-FLECホームページにおいて、出張授業において活用する標準講義資料を一般公開しています。
- 以下10種類の対象層別の標準講義資料をPDFで提供しています。

対象層別【一般公開】			
学校向け	小学生(低学年)	職域向け	～20代 若手層用
	小学生(中学年)		～40代 中堅層用
	小学生(高学年)		～60代 ベテラン層用
	中学生用	一般向け	高齢者用
	高校生用		
	大学生用		

- ※ 上記に加え、テーマ別コンテンツとして、公的年金・私的年金・iDeCo・NISA・資産運用・投資信託・サステナブル・民間保険(生保・損保)・金融トラブル/消費者教育(学生・社会人)・成年後見制度・贈与/相続・終活等も作成(非公開)。
- ※ 一般の利用者の方が、標準講義資料を参考にすることが可能です。
使用時はJ-FLEC資料からの引用であることの明記、一部抜粋の禁止などの留意事項をご確認ください。

教材はこちらから閲覧・ダウンロードが可能
<https://www.j-flec.go.jp/materials/>



- 全国各地で、社会人の方や事業会社(経営者の方)、教員の方などを対象とした、お金に関する無料イベント・セミナーを開催します。
- 忙しくて時間がない方、遠隔地にお住まいの方にもご参加いただけるよう、イベント・セミナー会場だけでなく、オンラインによる参加やオンデマンド動画による視聴も可能とする予定です。

【イベント・セミナー例】

対象層	主な内容等
社会人	「社会人として身に付けておきたいお金の話」 ・収支管理・資産形成の基本や利用できる制度(NISA等)、社会保険と民間保険など
事業会社(経営者)	「職域における金融経済教育のメリット」 ・人材確保の観点からの金融経済教育の重要性、企業における取組み事例の紹介など
教員向け	「基礎から知りたいお金の話」 ・先生自身に知っていただきたい、家計管理・資産形成などの基本とポイント 「生徒に伝えたいお金の話」 ・授業でお金について教える際のポイント、授業で使えるJ-FLEC教材の体験など
親子向け	「お金の使い方・貯め方体験プログラム」 「会社の仕組みやお金の流れを学習できるワークショップ」



<主に一般の方々へ>

～将来を見据えたおかねのキホン～

NISAとiDeCoで始める 資産形成セミナー

2024 **9.25** WED
18:30 ~ 20:00

NISA iDeCo

オンライン開催 参加無料
YouTube LIVE 配信
*事前申込制 (定員はありません)

本年4月、金融経済教育推進機構 (J-FLEC) が設立され、これまで以上に金融経済教育が注目を集めています。お金に関する様々な知識を正しく身に付け、経済的に自立することは、ウェルビーイングな人生を送るために非常に重要とされています。今、話題のNISA や iDeCo についてもしっかり学んで、お金や資産形成について、一緒に考えてみませんか？

プログラム ※開始予定時刻の1分前より参加可能です。※本プログラムは予告なく変更となる場合がございます。

- 1 政府高官メッセージ
- 2 金融リテラシーの基礎
J-FLEC 認定アドバイザー 岡田 由美子
- 3 NISA 制度とその活用方法
金融庁 金融経済教育推進室 野村 泰慶
- 4 iDeCo 制度とその活用方法
厚生労働省 年金局 企業年金・個人年金課 末永 理紗
- 5 Q&A コーナー 申込フォームでいただいた事前質問に講師がお答えします！

《申込方法》
下記 URL もしくは QR コードから申込フォームに記入・送信ください。
<https://form.dr-seminar.jp/lps/evkstg/kinyuseminar>
申込完了後、YouTube LIVE の視聴 URL がメールで届きます。

ひとくらし、あらいのために
J-FLEC **金融庁** **厚生労働省**
Financial Services Agency Ministry of Health, Labour and Welfare
運営委託会社：東京セミナースタジオ株式会社 info@tokyo-seminar-studio.com 担当：ト部 (うらべ)、大谷

<主に経営層や人事・福利厚生担当の方々へ>

J-FLEC × SMBCグループ 共催イベント

定員 **150** 名様
参加 **無料** (※お申し込み)

9.26 Thu
第1部 18:00 ~
第2部 18:40 ~

大手町
サンケイプラザ
4F ホール

ファイナンシャル ウェルビーイングと 金融経済教育

18:00 ~ [第1部] パネルディスカッション

THEME
1. 日本人の金融リテラシーの現在地
2. 企業にとっての従業員の金融リテラシー向上の意義
3. 金融リテラシーの向上に向けた取組

SPEAKER
金融経済教育推進機構 (J-FLEC) 理事長 **安藤 隆**
三井住友フィナンシャルグループ取締役 執行役員 伊藤 文彦
コメンテーター
フリーアナウンサー 宇賀 なつみ

18:40 ~ [第2部] 企業トークセッション

THEME
人的資本経営におけるファイナンシャルウェルビーイングの位置づけと具体的な取組

SPEAKER
NEC 企業年金基金常務理事 NEC 人材戦略開発統括部 シニア年金プロフェッショナル / **本間 智亮 氏**
株式会社パソナグループ 常務執行役員 HR 部長 / **金澤 良理 氏**
早稲田大学大学院 早稲田大学ビジネススクール教授 / **入山 章崇 氏**

日時 2024年9月26日 (木) 18:00~19:30 ※17:30 開場・受付開始
場所 大手町サンケイプラザ 4F ホール
対象 企業の人事部門、金融経済教育・人的資本経営に興味がある方など

お申し込みはコチラ

お申し込み方法 ▶ 下記URLもしくはQRコードから申込フォームに記入・送信ください。
https://www.smfg.co.jp/sustainability/whatsnew/2024/2024_09_26.html

共催 | **J-FLEC** **SMBC**

<主に消費者教育に携わる方々へ>

<主に子どもとその保護者、教員の方々へ>

昭和女子大学 専門職大学院 公開シンポジウム (共催 金融経済教育推進機構)

消費者本位の金融経済教育 —J-FLEC認定アドバイザーが果たすべき役割—

金融経済教育推進機構(J-FLEC)の設立を契機として、消費者の金融経済教育の必要性への関心があらためて高まるなか、J-FLEC認定アドバイザーによるアドバイスの実施業務及びその果たすべき役割を、特に消費者の立場から検討する。

日時 ⇒ 2024年9月18日(水) 18:30~20:45

開催方法 ⇒ ハイフレックス形式 (参加費無料)

会場 ⇒ オンライン: Zoomウェビナー
対面: 昭和女子大学 学園本部館3階 中会議室
東京都世田谷区太子堂1丁目7-57
(東急田園都市線(半蔵門線直通) 三軒茶屋駅下車 徒歩7分)

申込方法 ⇒ 申込フォームまたはQRコードよりお申し込みください
<https://forms.gle/QVQT658ttrLmATBN7>



プログラム

- ◆オープニング・リマーク
坂東 眞理子 昭和女子大学総長
- ◆シンポジウム趣旨説明
太田 行信 昭和女子大学特命教授
- ◆講演 「J-FLEC設立の狙いとその戦略」
安藤 聡 J-FLEC (金融経済教育推進機構) 理事長
- ◆講演 「消費者教育と金融経済教育の連携の新局面」
柿野 成美 法政大学大学院准教授
- ◆報告 「損害保険に関する消費者金融リテラシーの現状と課題」
遠藤 美紀子 東京海上日動火災保険株式会社 熊谷支社 シニアアソシエイト/
マスター消費生活アドバイザー (昭和女子大学専門職大学院 修了生)
- ◆パネルディスカッション
「消費者本位の金融経済教育の目指すところとJ-FLEC認定アドバイザーが果たすべき役割」
永沢 裕美子 良質な金融商品を育てる会 (フォスター・フォーラム) 世話人/
NACS (日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会) 理事
安藤理事長、柿野准教授、加納 克利 昭和女子大学教授
- ◆質疑応答
- ◆総括コメント
飛田 史和 昭和女子大学 特任教授

【お問い合わせ先】
昭和女子大学大学院 福祉社会・経営研究科 福祉共創ナレッジ管理専攻
Mail: exam-senfuku@swu.ac.jp



J-FLEC NOMURA

次世代を担う子どもたちのための
金融経済教育イベント

参加無料

ゲーム形式の授業も!

小中学生と保護者向け
親子で学ぶ

お金のコト

日本橋・兜町で、次世代を担う子どもたちのウェルビーイング実現のために、金融・経済の知識・経験を伝え、活かす方法を一緒に考えるイベント「親子で学ぶお金のコト」を開催します。ぜひ、親子でご参加ください。

開催日時 2024年10月20日 12:30 ~ 16:00

■プログラム ※詳細は裏面をご確認ください

12:30 - 16:00	体験型イベント 親子でお金の体験授業
12:30 - 13:30	イベントセミナー 親子で、学校で学ぶお金のコト
13:40 - 14:40	同時開催: 教員向けセミナー 「よく生きる」を実現する金融経済教育

開催場所
KABUTO ONE HALL & CONFERENCE
東京都中央区日本橋兜町7-1 KABUTO ONE 4階
● 東京メトロ東西線「茅場町」駅直結
● 東京メトロ銀座線・東西線、都営浅草線「日本橋」駅 O2出口 徒歩2分

主催 J-FLEC NOMURA 協力 docomo Benesse

J-FLEC NOMURA

次世代を担う子どもたちのための
金融経済教育イベント

参加無料

授業体験も!

教員のみなさま向け
学校で学ぶ

お金のコト

日本橋・兜町で、次世代を担う子どもたちのウェルビーイング実現のために、金融・経済の知識・経験を伝え、活かす方法を一緒に考えるイベント「学校で学ぶお金のコト」を会場・オンラインで開催します。ぜひ、ご参加ください。

開催日時 2024年10月20日 日曜日 12:30 ~ 16:00 ※12:00~開場および受付開始

■プログラム ※詳細は裏面をご確認ください

12:30 - 13:30	イベントセミナー 親子で、学校で学ぶお金のコト
13:40 - 14:40	教員向けセミナー 「よく生きる」を実現する金融経済教育
12:30 - 16:00	教員・保護者用体験授業も 親子でお金の体験授業

開催場所
KABUTO ONE HALL & CONFERENCE
東京都中央区日本橋兜町7-1 KABUTO ONE 4階
● 東京メトロ東西線「茅場町」駅直結
● 東京メトロ銀座線・東西線、都営浅草線「日本橋」駅 O2出口 徒歩2分

参加お申込み
下記二次元コードイベントページからお申し込みください



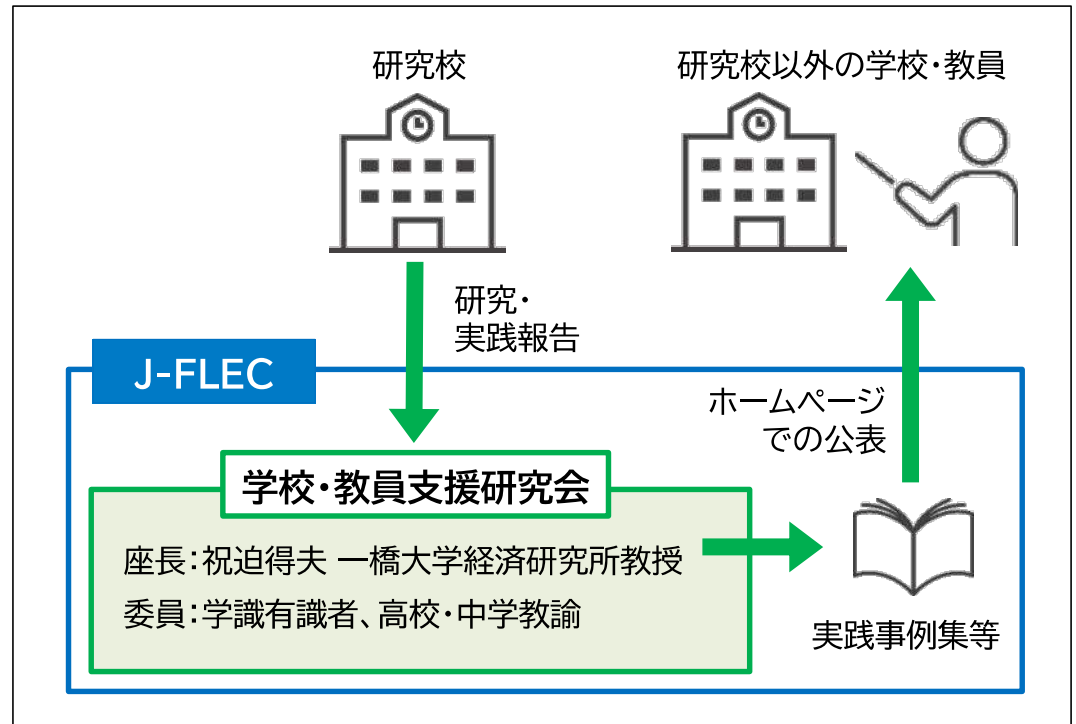
主催 J-FLEC NOMURA 協力 docomo Benesse 後援 JSDA 日本証券業協会

金融経済教育研究校制度

- 全国各地で、金融経済教育に関する研究活動や実践に積極的に取り組む学校を指定し、教育研究費の助成や研究・実践計画作成に当たってのアドバイスの提供など、さまざまなかたちで支援します。
 - ※ 同様の活動を行う学校横断的な教員グループについても、本制度に準じた指定・支援を行う予定です。
- 研究・実践の報告は、研究校以外の学校や教員の方々にも広く活用いただけるよう、J-FLECのホームページで公表します。

学校・教員支援研究会

- J-FLEC内に「学校・教育支援研究会」を設置し、以下のテーマ等を通じて、学校教育や教員の支援のあり方について検討します。
 - ◆ 学習指導案の制作
 - ◆ 上記研究校の研究・実践報告等をもとにした実践事例集の作成
 - ◆ 金融経済教育の実態調査
- 成果物はJ-FLECのホームページで公表し、金融経済教育に取り組む学校や教員の方々にも広く活用いただけるようにします。



ステップ 1 講師派遣(出張授業)、イベント・セミナー

J-FLEC

1

金融経済教育の機会を提供し、ライフプラン・家計管理・資産形成などの重要性について理解していただく。

ステップ 2 「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験

J-FLEC

2

1時間の無料相談体験を通じて、自分自身が取べき具体的な行動を知っていただく。
また、お金に関するアドバイスの価値や意義を認識していただく。

ステップ 3 「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポン

 J-FLEC
認定アドバイザー

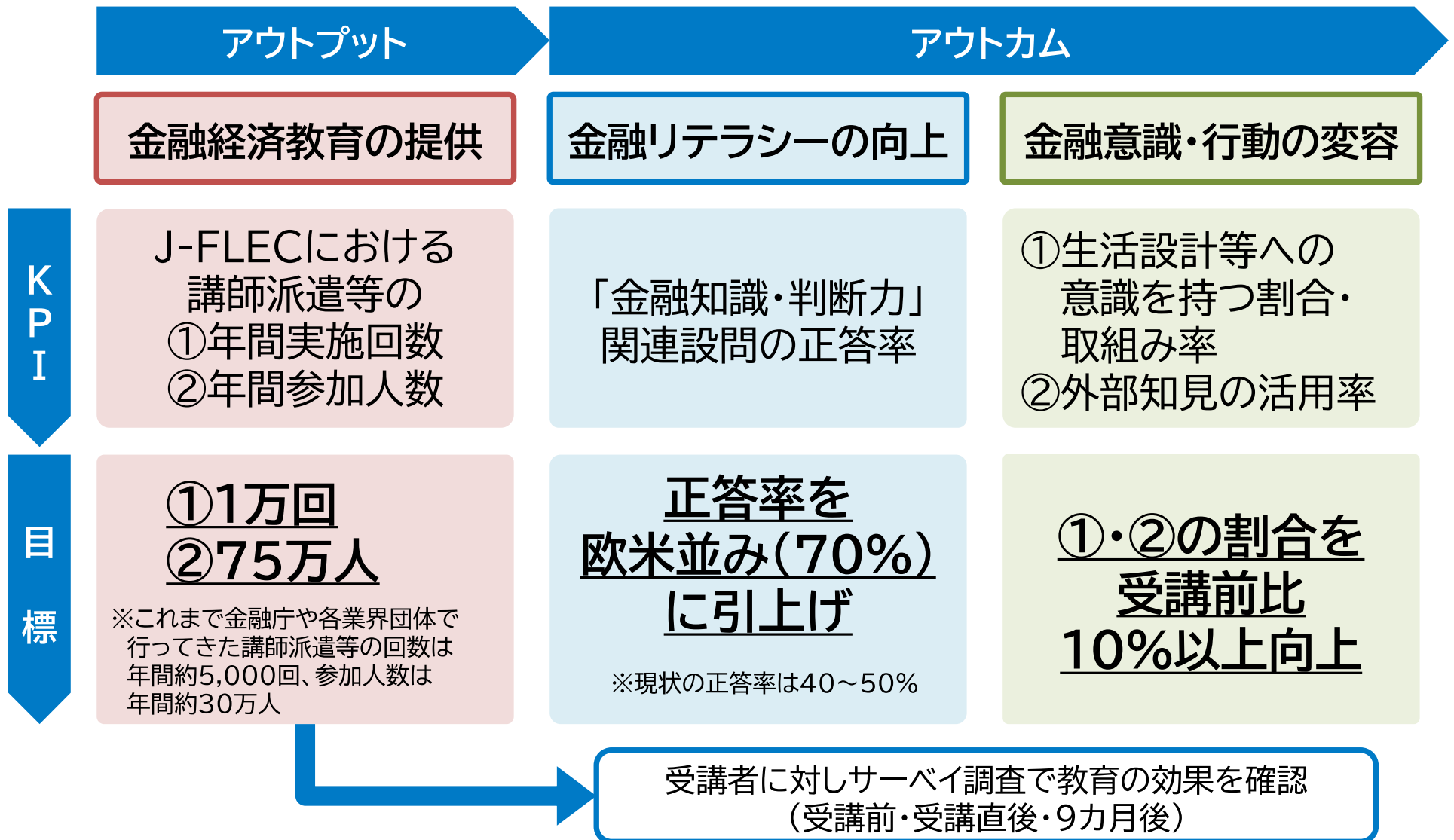
3

相談料の割引クーポンを配布することによって、実際にお金に関するアドバイスを受けるきっかけとしていただく。そして、自分自身が取べき具体的な行動についての理解を深めていただく。

 個人の金融意識・
金融行動の変容

 一人ひとりが描くファイナンシャル・
ウェルビーイングの実現

- アウトカムの測定とサーベイ調査に関連するKPIとして、下記の3点をJ-FLECのKPI及び目標として設定します。



- 各地域や都道府県の特徴を踏まえた効果的な教育を推進しつつも、全国各地における金融経済教育の抜本的な拡充を目指し、関係団体との連携を強化していきます。

<関係団体>

- ◆ 47都道府県に設置されている金融広報委員会(事務局:日銀支店又は県庁)
- ◆ 各地銀行協会(49か所)
- ◆ 日本証券業協会地区協会(8か所)
- ◆ 財務(支)局(10か所)、沖縄総合事務局、財務事務所(40か所)
など

ブロック協議会



地域ごとの活動全体を底上げ

J-FLEC認定アドバイザー等研修会



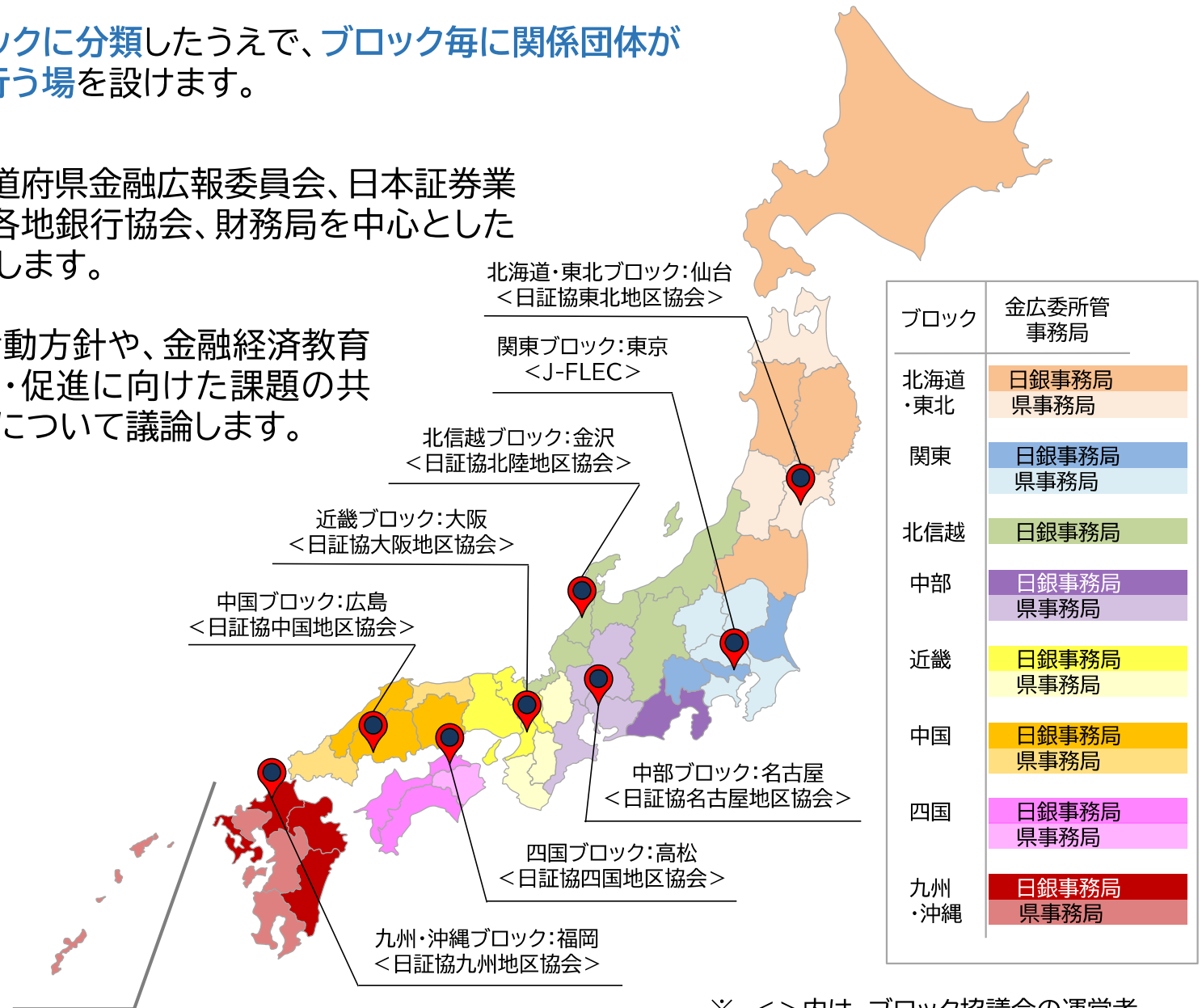
教育の担い手のスキル向上

- 関係団体は、上記協議会や研修会の枠組みにとどまらず、官民一体となって各地域の経済団体や教育機関等にもJ-FLECの広報活動を実施します。

□ 全国を8つのブロックに分類したうえで、ブロック毎に関係団体が情報・意見交換を行う場を設けます。

◆ J-FLECや各都道府県金融広報委員会、日本証券業協会地区協会、各地銀行協会、財務局を中心とした関係団体が参加します。

◆ 各関係団体の活動方針や、金融経済教育のさらなる普及・促進に向けた課題の共有および解決策について議論します。



※ <>内は、ブロック協議会の運営者。

- 地域に即した金融経済教育の実践事例の共有を目的として、都道府県毎に、講師派遣事業を担うJ-FLEC認定アドバイザーが情報・意見交換を行う場を設けます。
- ◆ J-FLEC認定アドバイザー同士のコミュニケーション機会を創出し、他の認定アドバイザーの取組みや好事例等を共有することにより、認定アドバイザーのスキル向上を図ります。
- ◆ J-FLECや各都道府県金融広報委員会等から、各地域の取組みに関する情報共有も実施します。



- 地方を含めて、広く全国に金融経済教育の機会を提供していくためには、多様なステークホルダーとの連携を通じて、多くの学びの場をつくることが重要です。
- 下表のとおり、J-FLECは関係団体との連携を強化しています。各地域でも同様に、ステークホルダーとのネットワーク構築が進展するよう、こうした活動状況を、随時、地方の事務局関係団体(財務局・財務事務所、都道府県金融広報委員会、日証協地区協会等)とも共有するなど、支援していきます。

対応	内容
パンフレットの発送	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国のJ-FLEC事務局関係団体や全国団体(首都圏に所在する経済・業界団体、文部科学省等)に対し、J-FLECに関する広報活動を実施【5月以降継続実施】
通知文書の発出	<ul style="list-style-type: none"> ● 各金融業界にJ-FLECとの連携に関する通知文書を発出(全銀協、日証協等12協会)【5月～6月】 ● J-FLECとの共催・役職員登壇等の連携に関して、FAQおよび申請方法を各金融業界宛に発出【8月】 ● 全国団体経由で、地方団体(全国団体が地方に持つ関係団体)や会員企業等に、J-FLECの積極的な活用等を依頼する通知文書を発出(文科省、社労士連合会、連合、JPX、全国高校長協会家庭部会など)【6月～10月】
説明会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 各金融業界(個別金融機関)への説明会および意見交換会を実施(イベント共催や講師派遣に関する具体事例の整理など)【7月～9月】 ● 日商・全国の商工会議所、連合、社労士連合会、東京都消費生活総合センター、全国国立大学附属学校PTA連合会などに対し、J-FLECの活用を呼びかけ【7月～9月】

※ 今後、厚労省より全国の企業年金(DB・DC)向けに、J-FLECに関する通知文書等の発出を行っていただく予定。

- 本資料における記載事項は、本資料の日付時点のものであり、今後変更となる可能性があります。
- 本資料の無断転用・転載・使用を禁じます。